

# 第23期 物流経営士課程

～物流新時代をリードする若手経営者、経営幹部のために～

令和4年11月7日～令和5年7月19日

メリット1

## 物流経営士 認定

修了後の試験に合格することにより、(公社)全日本トラック協会から「物流経営士」として認定されます。



メリット2

## マネジメント 能力

受講生同士のグループ討議等を通じて、視野の拡大とマネジメント能力・プレゼンテーション能力が向上します。

メリット3

## ヒューマン・ ネットワーク

長期研修を通じ、受講生同士のヒューマン・ネットワークが構築できます。開校以来、輩出された**600名以上**の物流経営士との間においてもヒューマン・ネットワークが大きく広がります。

メリット4

## ビジネス チャンス をつかむ

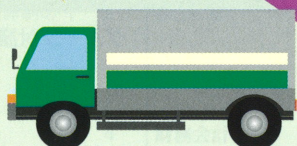
いち早く有効な情報を見い出して、ビジネスチャンスをつかむ能力を高めます。

メリット5

## 幅広い知識 を習得

専門講師陣により、経営の基礎から物流の方向性まで幅広い知識が学べます。

5  
大  
メ  
リ  
ツ  
ト

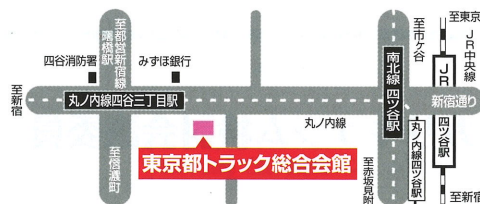


一般社団法人 東京都トラック協会

〒160-0004

東京都新宿区四谷3-1-8 東京都トラック総合会館内

TEL. 03-3359-4137 FAX. 03-3359-6020



・東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅下車徒歩3分

# 本講座のねらい



自社計画の発表

トラック運送事業は、国民生活や産業活動を支えるライフライン（生命線）として、重要な役割を担っています。一方、その経営実態は、競争の激化や燃料費の高騰、働き方改革や環境問題への対応、深刻なドライバー不足などにより、厳しさを増してきています。さらには、産業・消費・流通等の構造変化、ITの高度化や物流体系の変革などにより、今、物流環境はダイナミックに変貌しようとしています。

本講座は、こうした大きな環境変化を踏まえ、トラック運送事業における人材の育成と経済競争に耐え得る近代的な経営体質の構築をめざし、物流新時代を乗り越えるための様々なスキルを身につけるとともに、「物流経営士」として資格認定を受けることをねらいとしています。

## 本講座の特色

- 中小事業者にとって役立つ実例を豊富に取り上げ、理解を助けます。
- 座学だけではなく、グループ討議と発表の機会を設け、問題発見と解決能力、折衝能力を身につけます。
- 宿泊研修などにより仲間づくりができ、交流の輪が広がります。
- 修了論文である自社の将来計画作りを通して、自社の抱える課題や進むべき方向性が明らかになり、会社経営に役立てることが出来ます。
- 本講座だけのオリジナルテキストとして、プログラム化された「アクティブ・テキスト」を用います。
- 「物流経営士」資格の取得により、第22期までの先輩たちの仲間入りができ、同じ「物流経営士」としてヒューマン・ネットワークを通じ活躍の場が広がります。
- 全国の物流業界におけるリーダーとしての役割が期待されます。



グループ討議

## カリキュラム検討会議委員

- 中田 信哉 神奈川大学名誉教授
- 湯浅 和夫 (株)湯浅コンサルティング代表取締役社長
- 大島 弘明 (株)NX総合研究所取締役

## 物流総論

我が国の産業構造の中で物流の占める位置と将来展望を学び、視野を広げます。

【到達目標】 自社や自分の進むべき方向性を見極める。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
物流総論	1	開講記念講演	○激変する経営環境への戦略設定	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	2	物流政策と法令	○我が国物流政策の最新情報と関連法令の基礎	(公社)全日本トラック協会役員
	2	交通行政と物流	○激化する首都東京の交通状況と交通行政の方向性 ○道路交通法等関係法令のポイント	別部鎮雄〔交通問題研究所主宰〕
	4	物流の現状と将来	○ダイナミックに変貌する物流環境と将来展望	大島弘明〔(株)NX 総合研究所取締役〕
	2	総合物流施策大綱	○物流政策のポイントや方向性	大島弘明〔(株)NX 総合研究所取締役〕
合計時間数	11			

## 経営外部環境

トラック運送事業者として必要な物流に関するキーワードを学び、新分野のロジスティクスニーズに対し、いち早く有効な情報を見だし、ビジネスチャンスをつかむ能力を高めます。

【到達目標】 物流の市場動向と輸配送ニーズを把握し、将来の市場展開の道筋を立てる。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
外部環境	2	物流業論	○荷主ニーズ変化への対応 ○コア・コンピタンス戦略 ○総合化、専門化等物流事業者の進むべき方向性	山田 健〔山田経営コンサルティング事務所代表〕
	4	ロジスティクス技法	○在庫管理 ○物流 ABC	内田明美子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
	2	市場戦略	○物流業におけるマーケティング、マーケット・ニーズの把握 ○商品戦略と商品開発 ○効果的な提案書の作成	重田靖男〔東京ロジスティクス顧問〕
	2	労働問題	○ドライバー不足とその対応 ○長時間労働改善のための方策 ○採用、定着のための工夫	芝田稔子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
ネットワーク	2	情報ネットワーク	○IT 技術の動向と将来 ○トラック運送事業における IT 活用 ○IT 導入事例	森高弘純〔近代経営システム研究所代表〕
合計時間数	12			

## 経営内部環境

企業における人・物・金の効率的な運用手法を学び、マネジメント能力を高めます。

【到達目標】 営業・財務・労務などの企業管理体制や輸配送・保管・流通加工など物流システムの効率化をデザインする能力を身につける。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
管理体制の確立	2	顧客管理	○トラック運送業にとって顧客とは「発荷主」だけではない。着荷主を含め物流サービスの展開に関係するすべてを顧客と考える。そして、顧客ごとに管理の方法は異なり、顧客間の関係も考えねばならない。	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	4	財務会計	○財務諸表の見方、作り方 ○決算書の分析、借入れ限度額の判定基準 ○財務分析・コスト管理	林 忠史〔(有)マスエージェント代表取締役〕
	4	資金管理	○資金管理の役割、資金調達と運用、資金管理の分析手法 ○運転資金管理 ○キャッシュフロー計算書の分析	林 忠史〔(有)マスエージェント代表取締役〕
	4	原価計算	○原価の適正な把握 ○事業収益力の向上	森高弘純〔近代経営システム研究所代表〕

# カリキュラム

総計時間数 110 時間（その他ホームスタディ 10 時間）

※都合により、講義を変更する場合があります。

管理体制の確立	4	労務管理	○トラック運送事業における労務管理の特徴、採用時の適性検査、就業規則、労働時間管理、賃金の決め方 ○人材開発体制、勤務評価制度の確立 ○職場環境、労働組合	小林弘和〔社会保険労務士〕
	4	労働関係法令	○労働基準法等労働関係法令	瀧澤 学〔社会保険労務士〕
	4	安全管理	○ハラスメント ○部下指導	中村香織〔キャリアコンサルタント〕
効率向上と安全対策	2	マテリアルと物流進化	○荷役・運搬の分析と改善方法、保管システムの種類 ○倉庫レイアウトの基本、自動化・機械化の手法	未定
	2	物流新技術	○物流の最先端技術の将来展望と課題	菊田一郎〔L-Tech Lab 代表〕
合計時間数	30			

## 事例研究

同業者や顧客の先進的な事例を現場で学び、実行力を身につけます。

【到達目標】 自社の将来計画を具体的な数字で計画し、モデル化する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
事例研究	10	資料分析	○自社計画策定のための課題別グループ研究・討議	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕 大島弘明〔(株)NX 総合研究所取締役〕 中村香織〔キャリアコンサルタント〕
	8	企業見学	○先進企業の物流現場	見学先未定
合計時間数	18			

## 自社将来計画策定

修了論文として、自社計画を策定します。

【到達目標】 パソコンを用い、シミュレーションモデルで作成した自社計画をパワーポイントで発表する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
自社計画策定	2	計画の立て方	○計画策定の方法	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	(10)	計画策定	○自社計画をパソコンで作成（ホームスタディ）	
	8	発表・講評	○自社計画をパワーポイントで発表	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕 湯浅和夫〔(株)湯浅コンサルティング 代表取締役社長〕 大島弘明〔(株)NX 総合研究所取締役〕
合計時間数	10			

## 課題別討議と発表

合計時間数 9 時間

これからの経営者は、顧客に対し、提供サービスの内容や改善策、また、自社の将来構想等を客観的なデータに基づき説明できる能力が求められます。そこで、講義の理解をより確かなものにするとともに、討議や説明能力を身につけるため、授業の節目ごとに小グループ討議を行い、その結果を発表します。

## 特別講義

経営者としての常識と経営能力を育てるために、トピックなテーマを選んで講義を行います。

講座名	時間数	テーマ	講師
特別講義	20	経済、社会、物流、経営戦略、IT 等の最新情報、実践事例などテーマを選び研修する。 10 コマ	未定
合計時間数	20		

## こんな感想をいただいています。

本課程を修了し、物流経営士の資格を認定された方々から、講座の多方面にわたって、有意義だったとの感想をいただいています。

### ■楽しく取り組んでこられました！

初めは自分がこのような研修を受けて良いものか、不安や戸惑いがありました。でも、研修を受けていく中で今まで知らなかったことが沢山あることに驚きと興味を持ち、何より分かり易い講義、ご指導で楽しく取り組んでこられたことが非常に良かったと思います。

### ■物流経営士課程は中身が濃く、有効です！

物流経営士で学んだことを現場に戻り、周りに落としこめば、大きな成果になると思います。そして、いかに内容が濃く現場で有効なものなのかが少しでも浸透すれば、この業界全体のレベルの底上げにも繋がるのではと考えます。

### ■相談できる仲間が増えました！

物流経営士課程を受講することで、ヒューマンネットワークを築くことができました。物流経営士の仲間として、同業の支援者として損得抜きで相談できる仲間が増えたことに大変感謝しております。

### ■同期生各会社と仕事をすることが目標です！

素晴らしい同期生と会えたことは私の財産となっています。ここまで長く同期生と同じ時間を過ごすことは初めてで、同期生との関係は深いものとなれた気がします。最終的には同期生各会社と仕事をすることが私の目標です。

### ■同じ課題を抱えていることがわかりました！

受講した感想としては非常に濃密な10か月でした。印象に残っているのは宿泊研修でのグループ討議です。そこで自社で抱えている課題を赤裸々に話したところ、他社でも同じ課題を抱えているということがわかりました。



# 年間時間割表



No.	月日	時間	科目	備考
	11月 7日 (月)	14:00 ~ 14:50	開講式	
1	"	15:00 ~ 16:00	開講記念講演	
2	11月 19日 (土)	13:00 ~ 15:00	物流業論	第1回 宿泊研修
3	"	15:15 ~ 17:15	物流政策と法令	"
4	"	19:00 ~ 21:30	グループ討議	"
5	11月 20日 (日)	8:00 ~ 10:00	グループ討議	"
6	"	10:00 ~ 12:00	本講座の狙い・企業研究	"
7	11月 30日 (水)	13:30 ~ 15:30	総合物流施策大綱	
8	"	15:45 ~ 17:45	特別講義	
9	12月 14日 (水)	13:30 ~ 15:30	特別講義	
10	"	15:45 ~ 17:45	マテリアルと物流進化	
11	1月 18日 (水)	13:30 ~ 15:30	特別講義	
12	"	15:45 ~ 17:45	市場戦略	
13	1月 25日 (水)	13:30 ~ 15:30	労働問題	
14	"	15:45 ~ 17:45	グループ討議	
15	2月 1日 (水)	13:30 ~ 15:30	物流新技術	
16	"	15:45 ~ 17:45	特別講義	
17	2月 8日 (水)	13:30 ~ 17:45	安全管理	
18	2月 22日 (水)	13:30 ~ 17:45	原価計算	
19	3月 1日 (水)	13:30 ~ 15:30	特別講義	
20	"	15:45 ~ 17:45	情報ネットワーク	

No.	月日	時間	科目	備考
21	3月 8日 (水)	13:30 ~ 17:45	物流の現状と将来	
22	3月 15日 (水)	13:30 ~ 15:30	特別講義	
23	"	15:45 ~ 17:45	特別講義	
24	4月 12日 (水)	13:30 ~ 17:45	財務会計	
25	4月 19日 (水)	13:30 ~ 15:30	顧客管理	
26	"	15:45 ~ 17:45	グループ討議	
27	4月 26日 (水)	13:30 ~ 15:45	交通行政と物流	
28	"	15:45 ~ 17:45	特別講義	
29	5月 10日 (水)	13:30 ~ 17:45	資金管理	
30	5月 20日 (土)	13:00 ~ 17:30	自社計画の策定 (課題別研究)	第2回 宿泊研修
31	"	19:00 ~ 21:00	(グループ討議)	"
32	5月 21日 (日)	8:00 ~ 10:00	(グループ討議)	"
33	"	10:00 ~ 12:00	(グループ別発表)	"
34	5月 31日 (水)	13:30 ~ 17:45	ロジスティクス技法	
35	6月 7日 (水)	13:30 ~ 15:30	特別講義	
36	"	15:45 ~ 17:45	特別講義	
37	6月 14日 (水)	9:00 ~ 17:00	企業見学	
38	6月 21日 (水)	13:30 ~ 17:45	労務管理	
39	6月 28日 (水)	13:30 ~ 17:45	労働関係法令	
40	7月 5日 (水)	9:00 ~ 18:00	自社計画の発表と講評	
41	7月 19日 (水)	13:30 ~ 15:30	資格認定試験	
42	9月 6日 (水)	16:00 ~ 16:40	修了式	

# 受講生募集要領

- **受講資格**
  - ① (一社)東京都トラック協会会員事業者の役員又はその社員で、経営管理職の経験3年以上の方若しくはこれに準ずる方
  - ② 関東トラック協会会員事業者の役員又はその社員で、経営管理職の経験3年以上の方若しくはこれに準ずる方
  - ③ その他特に会長が認めた方
- **募集定員** 30名 (受講が決定した方には、受講決定通知書をお送りいたします。)
- **研修期間** 令和4年11月7日～令和5年7月19日。修了式は、9月6日。
- **授業時間** 総計110時間
- **場 所** 東京都トラック総合会館内 他
- **受講日、時間**
  - ① 一般講義 原則として水曜日の13時30分～17時45分  
講師の都合により、他の曜日、時間帯になる場合もあります。
  - ② 宿泊研修
    - 第1回 令和4年11月(1泊2日) 今後の学習目標を明らかにするとともに、本講座のねらいや物流業の基礎を学びます。また、受講生同士の交流の場ともなります。
    - 第2回 令和5年5月(1泊2日) ケーススタディを中心とした演習とグループディスカッションにより修了論文である「自社計画」策定の足がかりを作ります。
  - ③ 企業見学 1回 (物流先進企業を見学)
- **修了資格** 一定割合以上の履修と修了論文「自社計画」の提出(採点と発表)により、修了証が授与されます。
- ◆ **物流経営士資格** 本講座を修了された方で、別に行う試験に合格された方には、(公社)全日本トラック協会から「物流経営士」資格が授与されます。
- **受講料**
  - ① 東ト協会会員事業者の役員及びその社員 35万円 (消費税込み)
  - ② 関ト協会会員事業者の役員及びその社員 35万円 (消費税込み)
  - ③ その他の方 40万円 (消費税込み)

受講料は、原則として一括前納とします。受講決定通知後、指定口座にお振り込みください。但し、2回の分納(申し込み時20万円、翌年4月15万円)もできます。

受講料は、途中で受講を辞められてもお返しいたしません。

※(公社)全日本トラック協会から物流経営士課程を修了し、試験に合格した方に、奨励金5万円が交付されます。また、厚生労働省の人材開発支援助成金も条件はありますが、活用できます(詳しくは、各労働局へお問い合わせください)。
- **受講申込** 別紙申込書に必要事項を記載のうえ、東京都トラック協会へファックスでお申込みください(関東各県トラック協会会員の場合は所属協会を經由)。  
その他の方は、直接お申込みください。  
申込期間: 8月25日(木)～10月7日(金)  
FAX: 03-3359-6020